

番 号 1

平成22年6月10日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 7番 阿 部 則比古

		平成22年6月10日 午前9時45分受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>市立角館病院については、現在様々な問題を抱えていますが、県南、県央の自治体病院や厚生連系病院、日赤病院等市立角館病院を取り巻く周辺病院が、続々と改築あるいは新築されつつある中で、私どもの市立角館病院は老朽化が際立っています。患者や病院スタッフが劣悪な環境の中に置かれていると言っても過言でないと思います。救急医療一つを取っても市民にとって死活的に大切な病院であり、何を犠牲にしても堅持しなければなりません。</p> <p>しかし、このままでは患者も減る一方ですし、経営面から見ても今後加速度的に悪化するのではないかと？</p> <p>早急に改築しなければなりませんが見通しは？</p> <p>規模は？</p> <p>場所は？</p> <p>おそらく行財政計画を阻害する最大の原因は分庁舎方式であり、これも早急に解決しなければなりません、合併特例債が使えなくなると自主財源で建設しなければならず、極めて建設が困難になるのでは？</p> <p>市政施行している県南、県央の自治体を見回しても、本市は群を抜いて、人口当たりの職員数が多く財政の硬直化も著しい。いずれ新規採用を手控えていれば適正な職員数にはなりますが、それまで10年も20年も先では市民の福祉や前述の待ったなしの事業に思い切った手を付けられない状況です。</p> <p>ここはワークシェアリング的な考え方で万難を排しても、誠に気の毒</p>			

ではありますが、職員の給与を暫時、病院建設と庁舎建設の返済のある程度が目途が立つ5～6年くらい8パーセント程度の削減をお願いするつもりはないか。

神代地区のインフラ整備の遅れが著しい。同じ仙北市民でありながら行政サービスに著しい差があり、早急に解消しなければならない。下水は合併浄化槽でも対応できるが飲料水にも困っている方々もいるようだ。今般、東前郷地区は解消されるようだが、早急に上水道を敷設する計画はあるか。とりあえず希望者だけでも飲料水の適否の検査を無料で出来ないか。

上記のとおり通告します。

平成22年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 9番 黒 沢 龍 己

		平成22年6月11日 午前 9時00分受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1、 <b>農業と観光産業の連携について</b>                  仙北市の農業は観光産業との連携が重要である。                  市長のマニフェストにもあるように、多様な農産物の開発にあたり、適地を考慮した付加価値の高い農産物の加工品開発をも含めた戦略の一環として、米単一依存形態から脱却し、観光面からも特色のある転作作物の奨励が求められている。                  今年から、新に転作作物として「紅ソバ(高嶺ルビー)」に取り組む生産組合があるが、まとまった紅ソバ植栽により景観面も優れ、さらに市内の全てのソバ屋さんがメニューに取り入れることによって、十分に仙北市の新たな戦略商品に成り得るものと考えます。                  この大きな商品価値としての可能性を秘めた、紅ソバの振興策について、例えば市単独の転作作物としての奨励金制度の創設や、市内での紅ソバ粉の普及とピーアールを促進し、転作作物から市内での利活用する一貫した施策について、市長の見解を問う。</p>			
<p>2、 <b>仙北市消防幹部団員の定年延長について</b>                  現在の仙北市消防団員は、団員から団長まで一律に65歳定年となっている。                  仙北市にあっても、例外なく加速的な高齢化の波が押し寄せているが、65歳過ぎと言えども、活力に満ち溢れた元気な現役の農業者も多く、ある意味では、豊富な人生経験に基づいた知恵を持っている高齢者の皆さんこそ、市にとって貴重な財産である。                  とりわけ消防団員の確保にも苦慮している状況にあっては、若い団員が少ない状況での、若者パワーの効率的、効果的な活用のためにも、豊富な知識と知恵が必要である。</p>			

美郷町の場合は、副分団長以上の定年が70歳となっており、大仙市でも、分団長以上は同じく70歳定年である。

こうした観点から、旧大曲仙北エリアでの定年制の統一を図り、本市の消防団員にあっても、副分団長以上の幹部については、70歳までの定年延長が考えられないか、市長の見解を問う。

### 3、 風力発電について

米国はデンマークとともに近代風車のパイオニアであり、現在でも約170万kW約1万5,000基と世界最大の風力発電設備の容量を誇っている。

デンマークでは、80年代に風力発電が急速に普及し、1995年末には約61万kW、3,800基に達している。これは、風力発電を国策産業として位置付け、国を挙げての取り組み成果であり、全世界の風力発電機市場の約5割をデンマーク製が占めるに至っている。

こうした風力発電拡大の世界的な潮流の中で、ようやく日本でも風力発電がクローズアップされ始め、近年の風力発電の設備容量は、ここ数年で急速に伸び、電力会社、地方自治体および民間企業によるものを合わせると、1996年に入って1万kWを超えると推計されるとの報告例もある。

国内でも、デンマーク製風車を導入した山形県立川町の事例では、9.5円/kWhという原子力・火力並みの発電コストが報告されている。

仙北市には、古くから宝風と言われる仙岩峠から吹き降ろす生保内東風を発電に利用するため、新たな観光資源としての可能性を見据えた専門的な調査を行う考えがないか、市長の見解を問う。

上記の通とおりに通告します。

番 号 3

平成22年6月10日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 18番 藤 原 助 一

		平成22年6月10日 午前 9時50分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
市の危機管理対策について 消防団の見直しについて 地域農業の担い手育成について 税の徴収率向上対策について 田沢湖病院の今後の運営について		
上記のとおり通告します。		

平成22年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 4番 平岡 裕子

		平成22年6月11日 午前11時39分受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>子育て支援と保育体制の充実について</p> <p>保育の支援を必要とする家庭が年々増え、内容も多様化している現状をどのようにみておられるのか。</p> <p>0歳児から2歳児の保育支援を必要とする家庭の支援策として、施設の構造上、受け入れに無理がある状態を踏まえて、新たな施設等検討すべきと思うがいかがか。</p> <p>保育園8時間保育を原則としながら、11時間開所が義務付けられている中で、職員は8時間勤務。特別保育事業を受け入れていく現場では、臨時職員の対応で切り抜け、正職員が抜けたあと補充なく経過した結果、臨時職員が大半を占めている。このままでは、今まで築きあげてきた幼児教育への関心の高まりが衰退の一途を辿るように思われる。臨時職員の正職員化ができない根拠は何か。</p> <p>国保税について</p> <p>国庫調整負担金増額の運動をできないか。</p> <p>増税により市民の生活を守れるのか。</p> <p>医療費抑制のための具体的な啓蒙・啓発活動はどうしていくのか。</p>			

ゴミ処理について

ゴミ分別による処理施設の負担の軽減は考えられないか。  
可燃ゴミ回収の間隔がしばらく空く場合、カレンダー調整はできないか。  
資源ゴミは、指定袋でなくても良いのではという声があるがどうか。

神代小学校改築工事について

仮校舎解体工事を早期に終わらせるための具体的な施策はないか。  
このまま待つことが子どもたちにとって、最良の方策か。

上記のとおり通告します。

平成22年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 1番 高橋 豪

		平成22年6月11日 午前10時45分受領
発言通告書	発言の種別	一般質問
発言の要旨		備考
<p>将来にわたり住み続けられる仙北市であるために</p> <p><b>働く場所の確保について</b></p> <p>仙北市の4月末時点での有効求人倍率は0.26倍と、市内雇用情勢は依然として厳しさを増している。本市においても、企業の規模縮小、倒産、撤退等で多くの方が失業され、職を求めて県外等へ流出しているのが現状であるが、この町で生活していくためには、まずは安定した仕事があって、しっかりと収入を得られることがこの大前提であることは言うまでもない。門脇市長がマニフェストにかかげる市民所得UPの手段として、地域産業の活性化、並びに新たな産業の育成、また観光資源を活かしたブランド戦略等には大いに期待するものであるが、これまで誘致企業が地域の雇用に大きく貢献してきたことを踏まえると、企業の誘致活動も大変重要な施策であると考え質問する。</p> <p>1 仙北市として企業の誘致活動についてどのような考えをお持ちなのか？</p> <p>2 誘致に向けた活動をどのように行っているのか？</p> <p>3 活動成果と今後の見通しについてはいかがなものか？</p> <p><b>少子化対策・子育て支援について</b></p> <p>全国的に少子化・高齢化が危惧されている中、仙北市も例外なくこれらのスピードが加速している。仙北市が将来に向け発展していくためには、次世代を担う子供達の存在が欠かせない。しかしながら、子育てにはお</p>		



金が掛ると感じている方々が多い中、景気の悪化による非正規雇用等不安定な労働環境や、低所得者の増加により、少子化現象にますます拍車がかかっているのが現状である。このことを踏まえると、本市としても少子化対策並びに子育てへの支援をより充実させていくことが責務と考え質問する。

- 1 仙北市として少子化並びに子育ての支援についてどのような認識をお持ちか？
- 2 今後の対策についてどのような姿勢で臨まれるのか？
- 3 保育サービスの充実も対策の一つであるが、児童の待機・保留状態をどのように解消するのか？
- 4 子供の福祉医療費の助成対象範囲について
- 5 放課後児童クラブの開設時間等について

上記のとおり通告します。

番 号 6

平成22年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 21番 佐々木 章

		平成22年6月11日 午前11時29分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>(1) 国保税減免不承認事件の控訴について イ 控訴決定後の推移について ロ 控訴審の見通しについて ハ 控訴審の費用について ニ 控訴審敗訴の場合の対応について</p> <p>(2) 議会の審議権・議決権に対する考え方は イ 専決処分について ロ 臨時議会の招集・開会について ハ 会派制と予算内示について</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 7

平成22年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 20番 稲 田 修

		平成22年6月11日 午前10時16分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
福祉関係 (イ) 少子化、高齢化対策について  病院関係について (イ) 救急医療再開について (ロ) 特区制度を応用した、医師確保と救急再開の可能性について		
上記のとおり通告します。		

平成22年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 16番 八 柳 良太郎

		平成22年6月11日 午前11時59分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>桜まつりについて</p> <p>今年の桜まつりは4月17日から5月5日までの会期を4日間延長し23日間開催され観光客数が156万1千人と史上2番目の多さを記録しました。</p> <p>桜開花時期と連休がかさなり、5月1日から4日までは連日10万人以上の人出で賑わいました。</p> <p>飲食業関連の店ではお客の行列があちこちで見られ確実に経済効果がもたらされたと聞いております。</p> <p>毎年連休期間の観光客ランキングで10位以内にいる角館ではありますが、これらの人達からたくさん消費してもらっている実感がありません。</p> <p>観光産業を推進しようとしているわけですからこのさくら祭りはまさに経済的な意味で成功させなければなりません。</p> <p>そのための具体的施策が必要です。</p> <p>1、実行委員会のまとめの会議における経済効果についての主な意見は。</p> <p>2、次の点についてどのように考えるのか。</p> <p>市民参加の取り組みについて</p> <p>誘導・案内のボランティア化は出来ないか</p> <p>誘導・案内、交通の整理には地理をわかった地元の人を活用すべき</p> <p>駐車場への誘導は官民一体が必要では</p> <p>係員の教育はどうする</p>		

みやげ店の呼び込みについて

名物について

総合産業研究所の提案は

直売所について

まつり期間中の農産物大型直売所の設置

農産物公的直売所におけるグループの売り上げの実態把握について

花葉館 紙風船館 立町中町ポケットパーク むらっこ物産館  
等

実行委員会にクレーム処理班を設ける

観光客配布パンフレットにトイレと駐車場を記載する

さくら祭り期間中のみの臨時設置は明記する

## 自主財源の確保について

### 1、財政の健全化について

2 1年度決算収納率は前年同期比で幾分プラスになり関係部署の頑張りが見える。

昨年から「財政健全化に関する法律」が施行され実質的赤字や外郭団体を含めた実質的将来負担等の指標と公営企業毎の資金不足率を公表することになったが、20年度指標についての感想と今後の見通しについて

起債制限比率についての見通しは

### 2、多額の収入未済額について

市税等収納対策本部 収納対策室の基本方針について

取り組みの強化について

市税 固定資産税等について

入湯税について

国保税について

督促状について

5年時効について

上記のとおり通告します。

番 号 9

平成22年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 14番 伊藤 邦彦

		平成22年6月11日 午前 8時30分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>旧角館町国保交付金過大需給について問う。</p> <p>旧角館町が2003年度と2004年度に国保普通調整交付金、約1,559万円を国から過大受給していたとして、国からの請求により、加算金を含め、約2,311万円を今年3月国保特別会計から返還し、現在、副市長を委員長とする調査委員会で調査中との報告を受けている。</p> <p>過大受給は、なぜおきたのか、その原因を明確にし、生じた加算金を「誰が」「どのような形で」「どう精算するのか」。多くの市民はこの事に対し、行政に不安と不満をいただいている。市民に負担させない形での早期解決をはかり市民の信頼を取り戻すべきであり、今日までの調査と、その方向性を問う。</p> <p>クリオン温水プールについて問う。</p> <p>合併して早5年が経過した。仙北市住民の大きな夢、希望である温水プール。しかし建設の声は微動だに聞こえない。</p> <p>プールは、市民はもとより広く大仙地区を含めた全域の小中高生の競技力の向上、そして住民の健康増進にと幅広く活用される施設と考える。学会認定の温泉療法医でもある、西木診療所の市川先生もおられる。建設促進に向けての是非を当局に問う。</p>		

市立西明寺中学校、桧木内中学校、両校の統合を問う。

かつて、合併前、両校を平成 22 ～ 23 年までに統合するとした事を記憶する。

統合により学校がなくなるその地域の淋しさは計り知れないし理解するが、生徒たちの今、そして将来を思えば、万感を排し統合を進めるべきと思うが当局の所見を伺う。

角館駅東広場について問う。

- 問 1 当広場の総建設費と、その財源内訳
- 問 2 建設する・・・としたその使用目的
- 問 3 目的道半ばとすれば、その進捗状況

上記のとおり通告します。

番 号 10

平成22年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 6番 田口 寿宜

		平成22年6月11日 午前10時54分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
～ 自然・環境 ～ 全国鳴り砂サミットの招致について			
～ 子供達 ～ 待機児童の解消法について 学校教育について			
～ 仕事 ～ 中小企業振興基本条例について			
上記のとおり通告します。			



